

日本の“宝島”あまくさ

ほんと

まちづくり協議会だより

「ひと・であい」が育む地域づくり

8月19日、20日に三重県伊勢市で開催された、第10回全国高校生交流フェアに、天草拓心高校SBP部の皆さんと参加してきました。SBPアワード代表発表会では、エントリーした24校の中から予選を勝ちぬいた7校の発表があり、いずれも優劣がつけがたい素晴らしい発表で、多くの学びがありました。来年は、拓心高校の生徒たちも先輩の意思を引き継ぎ、さらなる高みを目指し、活動を続けて欲しいと思っています。

今年は第10回の記念企画として、沖縄県西原町の高校生「NS²BP」による演劇が行われ、笑い、涙、感動の110分、高校生とは思えない演技に拍手が鳴りやみませんでした。

私の地域づくりのキーワードは、「ひと・であい」です。これまで全国各地の地域づくりのキーマンを訪ね、多くの人々との出会いがありました。その中で、私が地域づくりの師と仰ぐ、鹿屋市柳谷集落（通称：やねだん）の豊重哲郎さんの語録の一部を紹介してみたいと思います。

- ・普段は使われていないものがあるがこうしたものこそ重要。高齢者の体験は最高の財産、これに加えて耕作放棄地も財産。
- ・地域を再生させるためには、行政に頼ってはいけません。補助金というのは「はい、どうぞ」と天から降ってきたようなお金、そこには感動がない、だからアイデアも出ない。自分で汗してお金を作って使うなら、みんな真剣に考える。アイデアや提案が出てくる。そのお金が実際に使われる段階になると皆感動する。
- ・地域再生は、ボランティアの延長線上では長続きしない、ビジネス感覚をいつでも持っていることが大事。

様々な課題を抱えている天草において、課題解決のために豊重さんの言葉を今一度思い起こし参考にしてみたら、きっといいアイデアが生まれるかもしれません。

「物は見てみる、人には会ってみる、足で歩いて行ってみる」これは野菜のみそ漬「市房漬」で有名な農産加工グループ、湯前町下村婦人会の初代会長、山北幸さんの言葉です。私は、この言葉を常に意識して行動しています。

「情報」は知識ではない、「体験」が知識なのだと、アインシュタインは言っています。また、富良野塾の主宰、倉本聰さんは「人間に必要なものは、発信力より受信力。受信とは視覚・聴覚・臭覚・触覚・味覚の五感すべてを動員し、あらゆる現象を吸収することで、他人が話したり、書いたもので受信したと錯覚したりしてはいけない。そこには嘘が必ず混じっている。五感を研ぎ澄まし『心のアンテナ』を広げることが大事」と述べています。

これらの人たちの言葉を常に心に刻み、若者が帰ってきたい、住みたいと思えるような魅力ある天草の未来に向かって行動していきたいと思っています。

皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



本渡まちづくり協議会
会長 中川竹治

Vol. **35**

令和7(2025)年10月1日号

目次

- 会長あいさつ……………P1
- 令和7年度事業計画・収支予算など……………P2～3
- 未来の大人応援プロジェクト(SBP)事業……………P4～6
- ふるさと応援寄附金のお礼……………P7
- 本渡まちづくり事故見舞金について……………P7
- 市内高校のSBP活動の紹介など……………P8

※SBP…Social Business Projectの略で、地域課題をビジネスの手法を用いて解決していく（こつ）という取り組みです。具体的には、若者（高校生が中心となり、地元にある地域資源（人、モノ、自然、歴史、産業など）と交流し、見直し、

天草拓心高校と本会が連携し、「未来の大人応援プロジェクト（SBP）」と題して地域課題の解決に向けた取り組みを進めています。現在、天草拓心高校のSBP部が中心となり、防災用非常食に関する活動や、オリジナルの焼き（あまりん焼き）および天草晩柑を使った商品の販売などを行っています。本会としては、今年度も引き続き「一般社団法人未来の大人応援プロジェクト」の代表理事である岸川政之氏とともに、高校と連携して取り組みを支援してまいります。（詳細については、4、5、6、8ページをご覧ください）

未来の大人応援プロジェクト（SBP）事業

掘り起こそう本渡の宝 伝えよう本渡の魅力

～令和7年度 第1回まちづくり協議会を開催～

令和7年度の事業計画・収支予算を審議

令和7年度の「第1回本渡まちづくり協議会」を5月20日、天草市、複合施設こらすで開催しました。会議には、委員など20人が出席。令和6年度の事業実績・収支決算・監査報告や、令和7年度の事業計画・収支予算などについて慎重に審議され、いずれも原案のとおり承認されました。本会では今年度も「まちづくり人材育成事業」「まちづくり研修」など、地域リーダーや担い手の育成を中心とした事業を展開するとともに、地域課題の解決に向けた「未来の大人応援プロジェクト（SBP）事業」などの取り組みを継続いたします。各事業の情報は、本紙や各地区振興会だよりなどでお知らせいたします。

各事業の紹介

まちづくり人材育成事業

まちづくり人材育成事業は、まちづくりを推進する人材の

育成を目的として研修を行うものです。過去に実施した人材育成事業を踏まえ、実践につながる見込みが大きい研修等を設定し、各地域で意欲のある方を募って実施することを検討しています。また、本協議会のまちづくり研修でお世話になった、鹿児島県鹿屋市柳谷自治公民館で実施されている「やねだん故郷創生塾」への参加者も募集しています。

まちづくり研修

まちづくり研修は、地域の特色を活かした取り組みを展開している団体や地域などを訪問し、それらの取り組みについて学び、意見を交換すること、気づきや発見を得て、まちづくりの参考としていただくことを目的に行う事業です。

今年度も、本会委員や地区振興会職員を対象として、まちづくりに関する先進的な取り組みに触れる研修を検討します。

令和6年度 収支決算

収 入	
決算額	28,491,525円
○天草市交付金	16,318,000円
○補助金収入	900,000円
○繰越金	194,222円
○負担金	96,000円
○事業収入	6,000円
○ふるさと応援交付金	2,403,000円
○繰入金	8,573,400円
○雑入	903円

支 出	
決算額	28,333,506円
○運営費	463,966円
○事業費	12,984,540円
・未来の大人応援プロジェクト(SBP)事業	(2,809,380円)
・協議会だより発行事業	(869,520円)
・まちづくり研修事業(委員研修)	(649,230円)
・まちづくり研修事業(振興会職員研修)	(22,000円)
・まちづくり人材育成事業	(40,000円)
・家庭料理大集合	(21,010円)
・防犯カメラ設置事業	(8,573,400円)
○地区振興会活動費	14,885,000円
※10地区振興会の活動費	
○次年度への繰越金	158,019円

令和7年度 収支予算

収 入	
予算額	25,486,000円
○天草市交付金	16,318,000円
○繰越金	158,019円
○負担金	170,000円
○ふるさと応援交付金	3,839,000円
○繰入金	5,000,000円
○雑入	981円

支 出	
予算額	25,486,000円
○運営費	591,000円
○事業費	10,002,000円
・未来の大人応援プロジェクト(SBP)事業	(2,748,000円)
・協議会だより発行事業	(880,000円)
・まちづくり研修事業(委員研修)	(540,000円)
・まちづくり研修事業(振興会職員研修)	(384,000円)
・まちづくり人材育成事業	(350,000円)
・家庭料理大集合	(100,000円)
・防犯カメラ設置事業	(5,000,000円)
○地区振興会活動費	14,885,000円
※10地区振興会の活動費	
○予備費	8,000円

活用して「まちづくり“や”ビジネス」を提案していく。そして、その取り組みを地域で応援し支えていくというものです。

防犯カメラ設置事業

地域の犯罪や交通事故の未然防止および早期解決を図り、安心で安全なまちづくりを推進することを目的に、市内各地域に防犯カメラを設置します。



▶防犯カメラ設置状況

協議会だより発行

協議会だよりは、年2回、本渡地域にお住まいの皆さんに配布しています。まちづくりに関する情報を、分かりやすくお伝えできる誌面にしたと思います。

本渡まちづくり協議会委員（敬称略）

役 職	氏 名	備 考
会 長	中川 竹治	地域づくり団体
副会長	鬼塚 清武	楠浦地区振興会長
監 事	濱崎 又幸	公募
〃	森 暉夫	公募
委 員	亀子 研二	本渡南地区振興会長
〃	丸田 光二	本渡北地区振興会長
〃	井上 数馬	亀場地区振興会長
〃	平山 辰巳	杵宇土地区振興会長
〃	横山 廣志	志柿地区振興会長
〃	川崎 宏	下浦地区振興会長
〃	堀田 福男	本町地区振興会長
〃	原田 康秀	佐伊津地区振興会長
〃	中西 昭人	宮地岳地区振興会長
〃	江崎 俊一	文化関係団体
〃	船田 公子	女性団体
〃	山下 修平	観光関係団体
〃	江崎 晃	産業関係団体
〃	横田 早苗	社会福祉関係団体
〃	田口 珠代	子ども育成・青年団体
〃	松本 晴彦	健康福祉団体

ご意見やご要望などありましたら、本会事務局（市まちづくり支援課）または各地区コミュニティセンターへお知らせください。



▲本渡まちづくり協議会だより

「おいしいあまくさほんど」 家庭料理大集合

家庭料理大集合とは、地域の皆さんが各々家庭料理を持ち寄り、試食し合い、お互いの味付けや、ちょっとした工夫を共有することで、お互いの交流を深め、地元の食べ物の豊かさを感じようと昨年度初めて実施した事業です。昨年度の課題を踏まえ、多くの皆さんに気軽に参加して



▲家庭料理大集合レシピ集

いただける機会となるよう検討していきます。※本渡まちづくり協議会についての詳細は、本会事務局（市まちづくり支援課）☎321-6661へお尋ねください。



▲ステージの上でPRする様子



▲販売の様子



▲他校の生徒と一緒に焼く様子



▲マグカップ作り体験の様子

8月20日の午後は、決勝の結果発表及び特別賞の発表、審査員交流会、表彰式がありました。天草拓心高校SBP部は、特別賞となる「皇學館大学賞」を受賞しました。

その後、賞を選定いただいた審査員である「皇學館大学特別教授 新田様」と交流会をとおり、受賞理由の説明や、

特別賞「皇學館大学賞」を受賞！

「世界でひとつのオンラインワンマグ作り」では、陶磁器製品を製造されている三重ナミ株式会社から陶磁器製品ができるまでの説明があり、実際にオリジナルのマグカップ作りの体験ができました。

「Sの絆焼きを焼いてみよう！」では、人気たい焼き専門店「わらしべ」のスタッフから作り方を教わりました。実践では、愛知県立高浜高校の生徒と一緒に焼き、より良い商品を作るためのアドバイスをいただき、交流を図ることができました。

今後の活動におけるアドバイスをいただく貴重な時間となりました。始めは緊張していたSBP部でしたが、次第にリラックスした様子で自分達の考えを発言しながら交流を深めていました。



▲特別賞審査員との意見交換

Social Business Project

第10回 全国高校生 SBP交流フェア

～学生の学生による学生のための祭典～

天草拓心高校SBP部が、7月26日・27日にオンラインで、そして8月19日・20日に三重県伊勢市の皇學館大学で開催された「第10回全国高校生SBP交流フェア」に参加し、活動内容についての発表や、他校との交流をしてきました。その内容についてご紹介します。

SBP交流フェアとは、全国からSBPの取り組みを行っている高校が、取り組みの紹介や開発商品の販売をしながら、参加者同士の情報交換やネットワークの構築のための交流を行うものです。

同フェアは企画・進行・案内をSBPの取り組みを行っている高校生が担当し、地元大学生がその裏方をサポートするという、生徒や学生主体のフェアです。

SBPアワードオンライン発表会

まずは、オンライン発表会が7月26日・27日に開催されたため、参加団体は各高校などに集まって発表を行いました。

チャレンジ部門では、発表する21団体が3グループに分かれ、2日にかけてオンラインで取り組み内容の説明（5分）、審査委員による質疑（5分）を行いました。そして、各グループから採点上位2団体が8月19日の代表発表会に進みました。プレミア部門では、今までに文部科学大臣賞を受賞した4団体が、取り組み内容の説明（10分）、審査委員による質疑（10分）を行いました。そして、採点上位1団体が8月19日に皇學館大学で、モデル事例として発表することになりました。



▲発表の様子



▲本渡まちづくり協議会委員も発表を見学

各団体とも、事前に作成した4分程度の動画によるプレゼンテーションを行い、その後審査委員からの質問がありました。どの団体も工夫を凝らした発表で、自分たちの取り組みを自信をもって発表されていました。

天草拓心高校SBP部は7月27日のプレミア部門1番目で発表を行い、先輩方が続けてきた取り組みである「あまりん焼き（オリジナルたい焼き）の改良」と「せんだご汁の改良」に加えて、「晩柑シロップ」に関して発表しました。（プロジェクトの内容は、8ページ参照）

SBPアワードオンライン発表会の結果発表と講評

8月3日には、7月26日・27日に行われたSBPアワードオンライン発表会について、講評と結果発表がオンラインで行われました。評価については、チャレンジ部門は雅（50点以上75点未満）、輝（75点以上90点未満）、極（90点以上）の3段階で、プレミア部門は銅賞（50点以上75点未満）、銀賞（75点以上90点未満）、金賞（90点以上）の3段階で、実施されました。

天草拓心高校SBP部は銀賞（75点以上90点未満）の評価をいただきましたが、代表発表会に進む団体には選ばれ



▲審査委員による結果発表と講評

審査員からは「昨年度から工夫したことは何か。」「天草以外への情報発信はどのようなのか。」「せんだご汁をこれから販売するのに値段設定はどうするのか。」「発表の時、1年間の工夫をもう少し明確に伝えるとより良い。」などのコメントや質問が寄せられ、それらに対して丁寧に回答を行いました。

善意の寄附ありがとうございました (敬称略)

〔令和7年3月～令和7年8月 本渡まちづくり協議会受領分〕

ふるさと応援寄附金として

森 信暁 (愛知県)	山本 淳一 (大阪府)	兵藤 和洋 (愛知県)	福田 良治 (東京都)
中村 光男 (茨城県)	久住 智幸 (神奈川県)	横山加奈子 (京都府)	神田盛恵子 (大阪府)
吾妻喜左子 (大阪府)	飯星 明 (栃木県)	大中 春菜 (福岡県)	福田 忠行 (埼玉県)
鶴川 歩 (東京都)	大川 出 (沖縄県)	山下香菜子 (東京都)	松本 寛乃 (福岡県)

匿名希望の方を含め、**合計 84 名**の方に寄附をいただきまして、ありがとうございます。

「ふるさと納税」で、天草本渡のまちづくりを応援してください。応援したいまちづくり協議会または地区振興会を指定できます。市外にお住まいのお知り合いの方がいらっしゃいましたら、ご周知くださいますようよろしくお願いいたします。

もしもの時のために

本渡まちづくり事故見舞金・火災見舞金制度

本渡まちづくり事故見舞金

本渡まちづくり協議会では、本渡地域にお住まいの方で、社会体育行事・地域コミュニティ活動（まちづくり協議会、地区振興会、区、自治公民館が主催する活動）に参加中の事故等により負傷された方などに対し、事故見舞金を支給する制度を設けています。

もし、これらの行事・活動において負傷された場合は、お住まいの地域の各地区振興会までご相談ください。

支給される見舞金の額は次のとおりです。

	区 分	支 給 額
死 亡	事故を直接の原因として60日以内に死亡した場合	40万円
	事故を直接の原因としないで死亡した場合	20万円
負 傷	医師の診断による。ただし、180日までを限度とする	1日 1,000円
	診断書費用（実費）を加算する	

本渡まちづくり火災見舞金

本渡地域にお住まいの方の住家が火災により罹災した時に、見舞金を支給する制度です。支給される見舞金の額は、被害の程度により異なりますので、詳しいことは、お住まいの地域の各地区振興会もしくは本渡まちづくり協議会にお尋ねください。

天草拓心高校SBP部

第10回全国高校生SBP交流フェアに参加して

3年 岩崎 舞侑

SBP交流フェアに参加させていただき、ありがとうございます。今回のフェアでは、他校の取り組みを直接見ることで、大変刺激を受けました。普段の活動では得られない、視点や考え方に触れることができ、自分たちの取り組みの可能性について再認識する良い機会となりました。このような貴重な経験ができたのは、日頃より支援・ご協力いただいている皆さんのおかげです。ありがとうございます。これからも、天草を輝かせられるような活動を行っていきます。今後とも、ご支援・ご指導のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

3年 松藤 陽香

今回交流フェアに参加し、代表で発表していた団体がたくさん的高校生や大人の前で堂々と発表している姿を見てすごく刺

3年 井上 彩

私は、今回で3回目の交流フェアに参加させていただきました。他の高校の発表を聞いて、各校ともに自分たちの活動に自信をもって発表しており、スライドの作り方や発表の仕方など、私たちの発表でも参考にしたい

部分がたくさんあり勉強になりました。最後の年に、銀賞と皇學館大学賞を受賞しました。私たちの活動を評価してもらい、現在のレベルを知ることができました。課題も見えたので、今後は先輩たちをしっかり引き継ぎ、これからの活動を頑張っていきたいです。3年間SBPの活動を通して、たくさんの経験をさせて頂きました。ここで学んだことを進路先でも活かしていきたいです。

2年 吉田 要

2度目の全国高校生SBP交流フェアに参加して、他の団体の発表を聞いてまだまだ成長できる点があると思いました。今回は実践発表交流会の司会もさせて頂き、楽しく行うことができてよかったです。実践発表交流会では晩柑シロップを販売し、すぐに完売することができてうれしかったです。また、他の団体と交流をしていく中で、勉強になる部分や新たな発見などもたくさんありました。これらを自分たちの活動で生かしていきたいように工夫していきたいです。

今回は銀賞と皇學館大学賞を受賞しましたが課題や反省点はまだまだあるので来年へ向けてこれから頑張っていきたいです。

1年 左崎 紗代

私は、今回初めて全国高校生SBP交流フェアに参加し、他校の発表を聞いて思ったことは、大人の方々と協力して研究したり、自分たちだけでアポ取りをしたりしていてすごいなと思いました。また、発表の仕方がとても上手で真似してみたいなと思いました。19日の終盤で沖縄県の皆さんが劇をしてくださりたくさん感動して面白かったです。いい思い出を作ることができました。最終日の結果発表で新田先生に貴重なご意見をいただきとてもいい機会でした。合



今回初めて全国SBP交流フェアに参加をし、他校の発表を聞いて思ったことは、どの高校もハイレベルな発表をしていて、僕の所属しているSBP部以上の研究結果を出している高校もたくさんあり、改めて凄いなと思いました。特に19日の交流フェアの終盤に見た沖縄県のNS²BPの人達による「さわりんと連玉義留」の劇はとても出演者の衣装やメイクなどのクオリティが高く、演劇を観ず、詳しくない僕でも魅了されました。僕は演劇を観るのは今回の「さわりんと連玉義留」の劇で人生初なのでとても良い経験になりました。



1年 根岸 海風

ほんどのいま

令和7年9月1日現在
(令和7.3.1との比較)

【本渡南】男……………3,552人(－37)
女……………4,041人(－64)
計……………7,593人(－101)
世帯数……………3,725(+1)
高齢化率……………36.0%

【本渡北】男……………5,384人(－20)
女……………5,908人(－9)
計……………11,292人(－29)
世帯数……………5,323(+38)
高齢化率……………25.4%

【亀場】男……………2,048人(－8)
女……………2,297人(－6)
計……………4,345人(－14)
世帯数……………1,907(+19)
高齢化率……………26.4%

【杵宇土】男……………254人(－6)
女……………259人(－13)
計……………513人(－19)
世帯数……………253(－4)
高齢化率……………52.2%

【志柿】男……………1,110人(－26)
女……………1,321人(－22)
計……………2,431人(－48)
世帯数……………1,141(－20)
高齢化率……………40.4%

【下浦】男……………710人(－21)
女……………788人(－18)
計……………1,498人(－39)
世帯数……………725(－5)
高齢化率……………49.6%

【楠浦】男……………1,048人(－8)
女……………1,100人(－22)
計……………2,148人(－30)
世帯数……………976(－5)
高齢化率……………41.8%

【本町】男……………737人(－12)
女……………746人(－7)
計……………1,483人(－19)
世帯数……………826(+1)
高齢化率……………46.1%

【佐伊津】男……………1,390人(－14)
女……………1,590人(－5)
計……………2,980人(－19)
世帯数……………1,436(+8)
高齢化率……………39.8%

【宮地岳】男……………200人(－11)
女……………211人(－4)
計……………411人(－15)
世帯数……………217(－6)
高齢化率……………56.7%

【合計】男……………16,433人(－163)
女……………18,261人(－170)
計……………34,694人(－333)
世帯数……………16,529(+27)
高齢化率……………33.8%

【編集・発行】

本渡まちづくり協議会

【事務局】

天草市 地域振興部
まちづくり支援課

〒863-8631

熊本県天草市東浜町8番1号

TEL 0969-32-6661

FAX 0969-24-2744

E-mail machidukuri@city.amakusa.lg.jp



天草拓心高校SBP部の活動紹介

今年度取り組んできた活動について紹介いたします。

晩柑シロップ

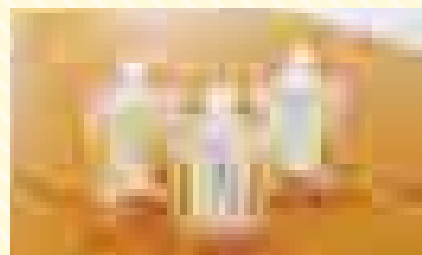
昨年度から販売していた晩柑ソースを、新たに「晩柑シロップ」として改良し販売しています。また、6月1日から7月31日まで開催された「あまくさ晩柑フェア2025」にも参加しました。このフェアを通してたくさんの方に購入していただき、【晩柑シロップ】を広くPRする大きな機会となりました。

現在は、天草拓心高校（本渡校舎）、山下果樹園様で販売しています。今後は、天草管内の道の駅でも販売する予定です。

販売価格 150ml：600円



▲晩柑フェア試食会の様子



▲晩柑シロップ

あまりん焼き

天草市の花ハマボウとイルカをモチーフにした、オリジナルたい焼き「あまりん焼き」を各地域のイベント等で販売しています。7月20日には、銀天街で毎月第3日曜日に開催されている“まちはみんなの遊園地”でも販売しました。また、1か月に1回、天草拓心高校本渡校舎内での販売も行っています。そこでは、先生方や生徒に購入していただき、SBP活動をPRすることができています。

今後、販売の機会がございましたら、本渡まちづくり協議会事務局までご連絡ください。天草拓心高校SBP部にお繋ぎいたします。

【今後の出店予定】

9月21日(日) まちはみんなの遊園地(中央銀天街)
10月19日(日) まちはみんなの遊園地(中央銀天街)
10月26日(日) あまくさ福祉まつり(天草市民センター)
11月23日(日) 本町ふるさとまつり
(本町地区コミュニティセンター周辺)
12月21日(日) まちはみんなの遊園地(中央銀天街)

※様々な事情により、予告なく出店を取りやめることもありますので、ご了承ください。

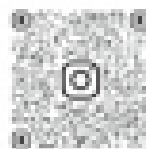


▲校内販売の準備の様子

Follow me!



Instagram



SBP部の活動の様子をInstagramで発信しています。
是非ご覧ください。